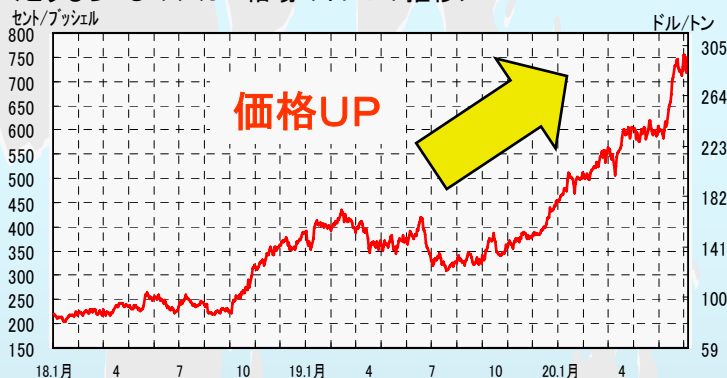


畜産物の生産コスト上昇にご理解を！

家畜の主食、とうもろこしの価格が上昇し続けています！



<とうもろこしのシカゴ相場の日々の推移>



飼料価格の上昇は、
輸送費の値上り等の
影響も受けています。

影響

現在、2年前と比較し、飼料価格が5割上昇し、
畜産物の生産コストを、10～30%上昇させています。

生産者



生産コストの
上昇



肉用牛15%UP
養豚・養鶏(ブロイラー)
30%UP




酪農10%UP



養鶏(卵)
30%UP

対応



生産者は、コスト低減や自給飼料増産のために、牧草等(粗飼料)の生産・利用や未利用資源の飼料化、生産性の向上等に取り組むなど、頑張っています。

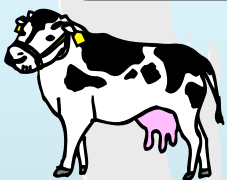
青刈りとうもろこし、稲わら、飼料用米の活用等々...



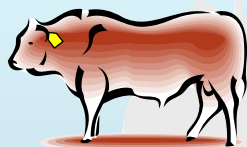
しかし、最近のコスト上昇は生産者の努力だけでは、吸収できません。皆様のご理解をお願いいたします。

- コスト上昇分は、生産者の努力だけで吸収できる範囲を超えています。このままでは生産者は国産畜産物の安定的な供給が、できなくなってしまうです。
- しかし、皆様に少しの負担をしていただければ、これからも安全・安心な国産畜産物の生産を続けていくことが可能です。
- 生産者は皆様に安全・安心な国産畜産物を供給するために、今後も精一杯努力していきます。このような生産者の現状をご理解いただき、ぜひとも応援団になってください！

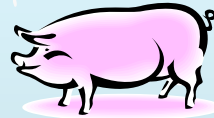
飼料価格の上昇分を4月現在の小売価格に反映させた場合の上昇額



生乳
1,000mlあたり
6円↑※



牛肉
肩肉100g
あたり 26円↑



豚肉
ロース肉100g
あたり 12円↑



卵
10個あたり
25円↑

※生乳については、牛乳の小売価格ではなく、生産者が乳業メーカーから受け取る価格(都府県)

●小売価格には、流通段階における経費等を含みますが、本試算は配合飼料価格の影響についてのみ試算したものです。

農林水産省試算値(平成20年7月時点)

もっと知りたい方は・・・

<http://www.maff.go.jp/lin/06-siryu.html>

お問い合わせはこちらまで！

農林水産省生産局畜産部畜産企画課企画班

TEL03-3502-8111(代表)